

あなたの知らないSTについて聞いてみよう



1. STとは
2. 構音・嚥下障害とは
3. 構音・嚥下障害の評価
4. 構音・嚥下障害の訓練
5. 休憩
6. 失語症とは
7. 失語症の評価
8. 失語症の訓練

言語聴覚士

ST : Speech-Language-Hearing-Therapist

「話す」「聞く」「食べる」ことの専門家です。

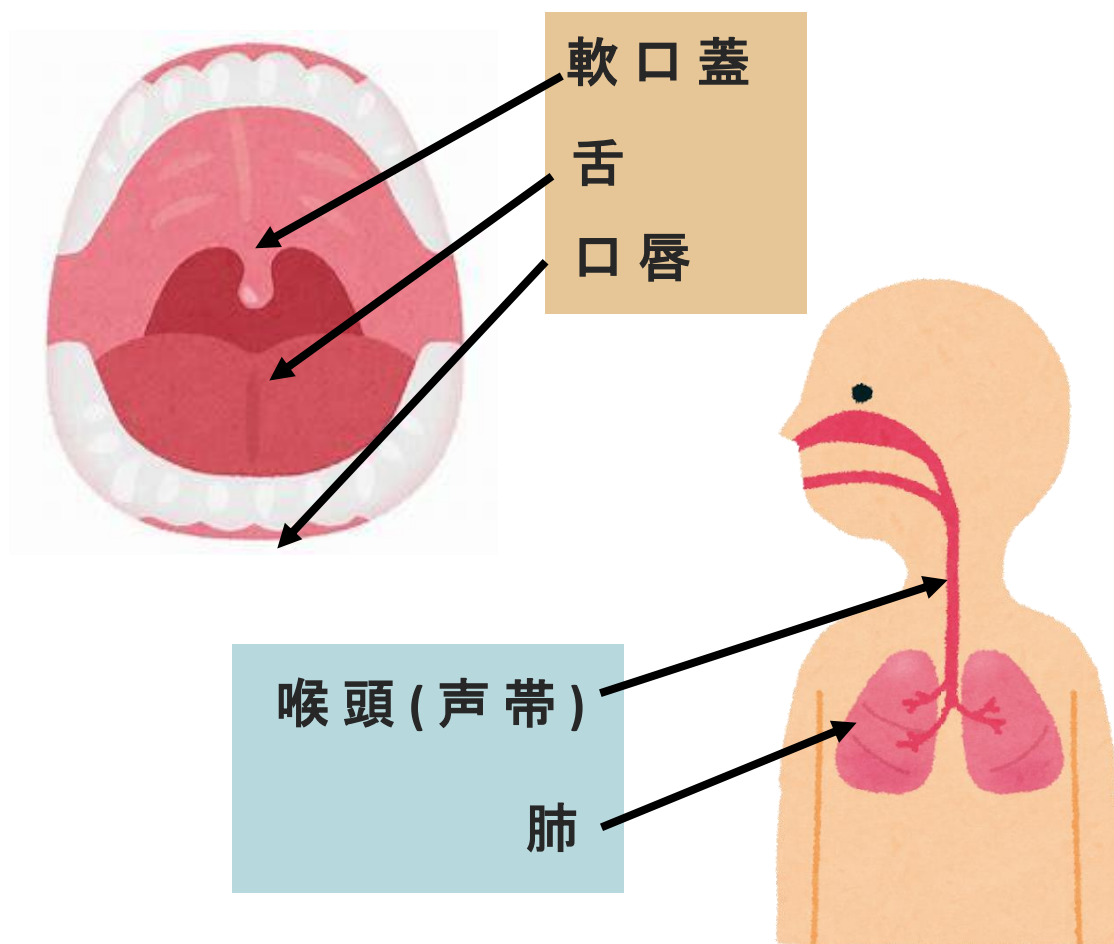
失語症や構音障害、音声障害、聴覚障害、
高次脳機能障害や発達障害など
ことばによるコミュニケーションの問題と、
嚥下障害など食べることの問題に対して
リハビリを行なう。

対象者：小児～高齢者

有資格者：41657人（24年度）
（PT：約20万人、OT：約11万人）



構音（発話）障害とは

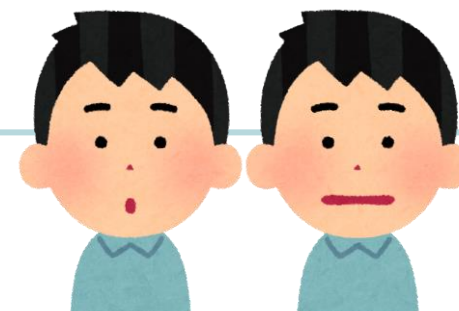


構音を司る器官や、呼吸・発声に関わる器官の運動障害により構音や声量に問題が生じ、聞き取りにくい発話となる状態

口腔構音機能の評価

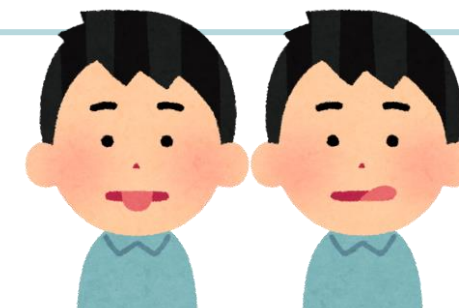
◆ 口唇

口を閉じる ⇔ 開ける
口唇を突き出す ⇔ 横にひく



◆ 舌

前に出す ⇔ 奥に引っ込める
左 ⇔ 右
上 ⇔ 下



◆ 咬合・下顎 (噛み合わせ)

舌圧子をしっかりと噛む

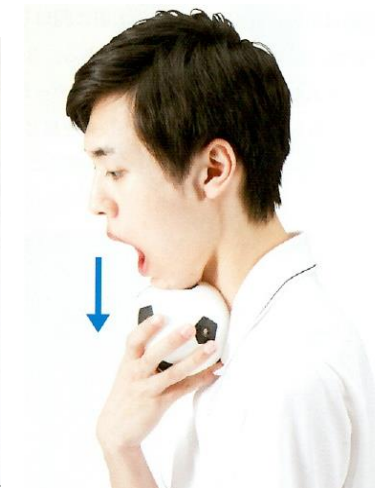


それぞれ最大限動かせるか、力はあるか、
反復運動に拙劣さはないか、を評価

のどの筋力強化訓練

◆ 開口訓練

⇒ 口を10秒開け続ける
(必要に応じて抵抗を加える)



◆ 嚥下おでこ体操

⇒ おでこを押さえながら
おへそを覗き込むように
顎を引く



失語症とは

脳の病気が原因で言葉が話せなくなったり
人の言葉が理解できなくなったりする状態

※ 症状には個人差があります。

【話す】

- ・ 言いたい言葉が浮かばず、言えない。
- ・ 違う言葉を言ってしまう。

【読む】

- ・ 文字を読むことが難しい。

【聞く】

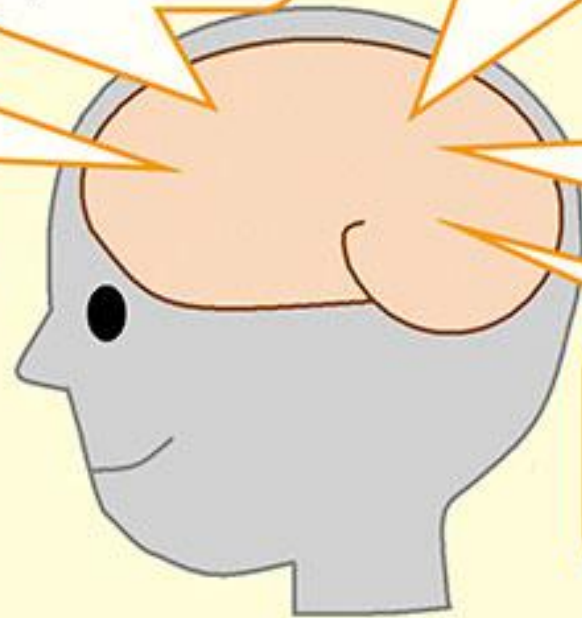
- ・ 言葉の意味が理解できない。

【書く】

- ・ 文字を書けない。
- ・ 違う字を書いてしまう。

【計算】

- ・ 数字を書き誤ったり、計算が出来ないことがある。



失語症の評価

- ◆ 日常会話
- ◆ 非言語能力の評価
- ◆ 名前や住所の書字
- ◆ 検査：標準失語症検査（SLTA）など
- ◆ 時計、計算の評価
- ◆ お金の支払い など



礼節
状況の理解
Yes-No反応
指さし
身振り
描画 など

「聞く」訓練

◆ 語音認知（音の聞き分け）

⇒ 似た音を聞かせ、同じ音か異なる音か答える
「ぽ」「ぼ」など

◆ 絵カードを用いた聴理解

⇒ 絵カードを並べ、STが言ったカードを指さす

◆ 聴覚的把持（聞いて覚える）

⇒ 目を閉じSTが言ったカード（2枚以上）を覚え、指さす

◆ 短文理解

⇒ 能動文・受動文・使役文など、文の複雑性を調整



その他の訓練

◆ スマホ・パソコン

- ⇒ 家族への連絡や緊急連絡の練習
- ⇒ 復職にむけた練習

◆ 電話・メモ取り

- ⇒ 電話をかけたり、メモを取って残したり、
自宅での留守番や復職に向けた練習

◆ 買い物

- ⇒ お金の計算、管理

◆ 集団での会話練習

